

K O K U S H I K A N

G E N E R A L

I N F O R M A T I O N

2020

国士館要覧

SINCE 1917

建学の由来と理念

日本は明治維新後、西洋文明を積極的に受容し、社会の近代化を急速に推進してきました。このため社会はおおいに伸張を遂げましたが、あまりに急激な近代化であったため、伝統文化を破壊し、軽視する風潮さえ生じました。日露戦争後には、国内問題が悪化し国民意識が変化するなかで、さまざまな社会問題が発生し、深刻な社会不安が引き起こされました。

このような当時の社会状況を憂い、柴田徳次郎ら有志は、日本の「革新」を図るため、「社会改良」と「青年指導」を目的として1913（大正2）年「青年大民団」を組織し、1917年、「活学を講ず」の宣言とともに、私塾「国士館」を創立するに至りました。

創立者たちのねらいは、吉田松陰の精神を範とし、教学の適地として世田谷の松陰神社隣接地に学舎を建設し、「国士館設立趣旨」でうたわれているように、日々の「実践」のなかから心身の鍛錬と人格の陶冶をはかり、国家社会に貢献する智力と胆力を備えた人材「国士」を養成することにありました。

以来、「国士」養成を理念として、学ぶ者みずからが不断の「読書・体験・反省」の三綱領を実践しつつ、「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を涵養することを教育理念に掲げ、さまざまな分野で活躍する人材を世に輩出してきました。

今日、国士館は、このような建学の志を大切に継承しながら、新たに発展を遂げた研究教育の諸領域でも、知識と実践の水準を高めつつ、世界の平和と進運を目指し、現代社会に積極的に貢献する真摯な努力を続けています。

建学の精神

「物質文明」を統御する「精神教育」を重視し、「心身の修練」と「知徳の精進向上」を目指し、国家社会の将来を思い、世界の平和と国家社会の改革向上に貢献する人材、即ち「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国士』の養成」を目指す。

教育理念

「国士」養成のため、四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を兼ね備える教育を行う。

「誠意」とは、真心と慈悲の心で、世のため、人のために尽くすこと

「勤労」とは、向上心を持って、誠実に仕事をすること

「見識」とは、道理のもと、物事を見抜く力をもつこと

「気魄」とは、信念と責任を持って強い心でやり通す力のこと

教育指針

四徳目を備えるには、不断の「読書・体験・反省」を実践し「思索」すること。

「読書」とは、善き書物に学び、世の中や自然界の真を理解すること

「体験」とは、智恵を持って善悪を判断し、善なる判断を実行すること

「反省」とは、何事も行った後、その行為を省みること

「思索」とは、省みた内容を検討し、次なる目標を立案すること

館歌・学園章

国士館館歌

作詞 柴田徳次郎
作曲 東儀鉄笛

一、霧わけ昇る陽を仰ぎ

梢こすえに高き月を浴び

皇国みくにに殉ゆるす大丈夫まさすらの

ここ武蔵野の国士館

二、松陰の祠しに節せつを磨まし

豪徳ごうとくの鐘かね氣きを澄すます

朝あな夕ゆふなにつく呼吸いきは

富嶽ふがく嵐あらしの天あまの風

三、区々うつつ現身しの粗薪あらまきに

大覚だいかくの火ひを打ち点ともし

三世さんぜ十方じっぽう焼やき尽つす

至心ししんの焰ほのおあふらばや

学園章 全学の総意で決めた「楓」

国士館が麻布笄町こうがいから、世田谷の松陰祠畔に移ったのは1919(大正8)年。その前年、国士館創設の同人たちは揃って松陰神社に詣でています。激動の幕末期、思想家、教育者として峻烈な生きざまを貫き通した吉田松陰に寄せる彼らの崇敬の念は篤く、新生国士館を松下村塾の系譜を継ぐ学塾に育て上げたいと願い願ったのです。

社の境内には大和魂を表す桜樹と、松陰の熱き血潮を彩った楓の古木があります。国士館高等部(現在の大学の前身)建学式の朝、創立者の柴田徳次郎は、朝日を受けて真紅に映える楓を見て松陰の赤心に思いを致し、楓を校章にと胸中ひそかに意を決したといいます。1920年の春、その思いを国士学生会(学生の自治組織)に諮り、学生会もまたこれに賛同し、全学の総意によって、校章は「七生報国の士を象徴する七片の楓葉」と決まったのです。



コミュニケーションマーク

地球を意味する円弧に歴史と将来への希望を表わすエレメントが交差して、英文表記の「Kokushikan」のイニシャル「K」を象っています。多くの人間が集い、その文化や知識、技術が“活発に交流”し、活気に溢れた国士館となるよう、社会に向かって開かれた学園、オープンでグローバルな学園のイメージを表現しています。カラーは、深紅の楓にも由来し、“情熱”や“喜び”を表すオリジナルカラーの「国士館レッド」です。1997(平成9)年の創立80周年記念事業の一環として制定されました。



CONTENTS 目次

02 ごあいさつ	14 組織
04 データで見る国士館	15-17 キャンパス・施設概要
06 トピックス	世田谷キャンパス/町田キャンパス
07 東京2020大会に向けての取り組み	多摩キャンパス/国士館楓の杜キャンパス
08-13 データファイル2020	18-21 歴史
08-09 基礎データ	18 創立者
10-11 国際交流/就職実績	19 年表
12-13 研究実績/財務状況	20-21 設置学校の変遷

ごあいさつ

国士館は1917(大正6)年に私塾「国士館」として創立し、1958年に国士館大学を創設して以来、皆様からの厚いご支援により、大学7学部・10研究科および中学校、高等学校を擁する総合学園として発展してまいりました。

「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材『国士』の養成」を旨とし、創立から100年を経て、表現方法は時代と共に変化を遂げてまいりましたが、その根底にあるのは「他への献身」という考え方です。これは、真心を持って人に尽くすことであり、創立者の柴田徳次郎先生が深い愛情をもって教える姿から、当時学生であった私自身が学んだことであります。本学が教育理念とする「誠意・勤労・見識・気魄」の四徳目を掲げ、人材育成の要諦とした創立の趣旨を、現代のニーズに合わせて伝えていくことが、継承する私たちの使命であると考えます。創立者が掲げた理念は、今も脈々と受け継がれており、その一例として2012年に設置した防災・救急救助総合研究所を中心に、地域社会に貢献する防災拠点大学としての機能をさらに強化しています。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態が社会に莫大な影響を及ぼしています。本学園としても学生・生徒の健康と安全を第一に、感染拡大防止に関する社会的使命を果たすとともに、学生・生徒の学び意欲と権利、機会を保障し、真摯に伝えていくことが学校法人の責務と考えます。コロナ禍の収束も含め先行きの不透明さは否めませんが、第二次中長期事業計画を着実に遂行し、教育の質と経営の安定を図ってまいります。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が2021年に延期されました。本学はこれまで専門部署の設置や学生ボランティアの募集などさまざまな取り組みを実施し、機運醸成を図ってまいりました。学生・生徒には各種活動を通じた体験・知見に触れる絶好の機会にしてほしいと願っています。

本学園は2027年の創立110周年を見据え、さらなる発展を遂げるための将来構想を掲げた記念事業募金を開始するとともに、本年には国士館楓の杜キャンパスの竣工を予定するなど、更なる教育・研究環境の整備に着手しております。今後も社会に求められる学園であり続けるため、新たな歴史の創造に向けて邁進してまいります。

2020年度は、新型コロナウイルスの世界規模での蔓延という災禍の中で始まりました。命を守るための感染拡大防止を最優先にした結果とはいえ、卒業式・入学式をはじめ大学の大切な行事を次々と中止せざるを得ない状況は非情であり、学生や保護者そして関係各位のお気持ちを慮れば落胆の念を禁じ得ません。

しかしながら、そうした混迷と憔悴の渦中にあっても、「面倒見の良い大学」を第一に掲げる本学では、“大学での学びをしっかり支える”ことの負託と責任の下に、惹起された諸問題解消に向けた対策を速やかに実行しております。一例を挙げますと、春期授業のオンライン化に加え、それらに対応する環境整備費として全学生を対象とする緊急給付金の支給を行いました。同時に本学独自の奨学金を含む困窮学生への支援策を鋭意実行に移しております。

暗澹とした中にも、光明がもたらされました。2018年度の救急救命士国家試験合格者数および消防官就職者数と並んで、念願だった警察官就職者数が全国第1位となったのです。学生・教職員のたゆまぬ努力、カリキュラムや公務員試験対策講座の充実に加えて、国士館独自の「防災教育」への和衷協同した意識が結実した成果だと自負しております。新入生のオリエンテーションでは自助公助の心構え、応急手当の方法、AEDの操作方法等の「防災総合基礎教育」を学びます。続く総合教育科目「防災リーダー養成論」では、救急医療、災害医学、気象災害や都市防災について修得すると共に、同実習では、ライフラインが切断された状況いわゆる“疑似的避難所生活”を体験します。消防官・警察官はもとより、教員や一般公務員志望者には防災士の国家資格取得を推奨しています。本学は、災害や防災に精通し、身も心も傷ついた人々に寄り添う、心優しくしかも心身共に強靱な人材を積極的に養成しているのです。

本学の使命は、「国を思い、世のため、人のために尽くすこと」を建学の精神に掲げ、教育理念である「誠意・勤労・見識・気魄」を体現する有為な人材を世に輩出することです。かくして、本学は、“公德心”という古来日本人の高潔な精神を継承する大学なのです。それがonly oneの大学としての国士館の矜持でもあります。

学校法人国士館 理事長

大澤 英雄

おおさわ・ひでお



1936年北海道生まれ
1960年国士館大学体育学部卒業

1960年本学に入職、1981年体育学部教授、1992年から2001年まで同学部学部長、2003年から2006年まで国士館大学学長

2006年本学名誉教授、学校法人国士館常任理事、2008年学校法人国士館副理事長を務め、2009年4月学校法人国士館理事長に就任

1992年から2004年まで財団法人日本サッカー協会理事・特任理事、1998年から2004年まで全日本大学サッカー連盟理事長、2004年から2006年まで全国体育系大学・学長学部長会会長、2008年全日本大学サッカー連盟顧問、2014年一般財団法人関東大学サッカー連盟会長、2015年からNPO法人日本サッカー指導者協会理事長

2009年から全国体育スポーツ系大学協議会理事、2012年から日本私立大学協会理事

2015年から公益財団法人私立大学退職金財団監事

2019年旭日中綬章受章

国士館大学 学長

佐藤 圭一

さとう・けいいち



1955年青森県生まれ

1984年国士館大学院政治学研究所政治学専攻博士課程修了、2006年政治学博士(国士館大学)

1984年本学に入職。2002年政経学部二部教授、2003年政経学部教授、2012年大学院政治学研究所科長、同学部政治学系主任を2期(2002年から2003年、2006年から2008年)、同学部教務主任を3期(2003年から2004年、2004年から2005年、2007年から2010年)務める

2015年12月国士館大学学長に就任

2014年から比較憲法学会理事

2002年受賞学術賞：田上穠治賞(比較憲法学会)

専門はアメリカ政治史

国士館は創立103年目を迎え、本校の2万5千人を超える卒業生は、国内はもとより世界の各分野で活躍しています。

創立者の柴田徳次郎先生は、共に助け合い、人々のために奉仕できる豊かな心を育むための人間教育を重視されました。国士館の教育理念では「読書・体験・反省」の三綱領の実践と「思索」による四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」の涵養を掲げています。三綱領は今でいう「PDCAサイクル」(Plan・Do・Check・Action)であり、創立当時から教育手法として取り入れていたのです。脈々と受け継がれてきた教育理念は、本校で学ぶ3年間および6年間を通して、人や文化の多様性を知り、礼儀を学び、心身を鍛練し、何事にも夢中になって取り組み、一人一人の成長を促すための教育プログラムとして展開されています。

近年では少子高齢化が進み、AI(人工知能)の発展、グローバル化の拡大など、社会環境が大きく転換していくなか、今もなお世界を席卷している新型コロナウイルスの感染拡大は、本校においてもあらゆる対応に迫られました。遠隔授業の導入、受講環境の整備補助として全生徒に対する一律8万円の緊急給付金の支給、分散登校と遠隔授業の並立、課外活動のガイドラインの策定と見直しなど、多岐にわたる取り組みを実施しました。また、将来においても遠隔授業の併用ができるようオンライン授業推進委員会を創設し、学力向上と教育の質保障に対応する準備を進めています。そのほか、学園を挙げて取り組み防災教育についても、着実に実行するための受講環境を整備しています。

高等学校では、学びの定着をより高めるための朝学習を取り入れ、放課後や部活動終了後にも利用できる自学自習教室「K-Improve」を整備し、質問に対応するチューターを配置しています。中学校では、多彩な体験カリキュラムと放課後学習を行い、心の成長を育むための「エコグラム」を取り入れるほか、英語に親しむことを目的として専用施設での宿泊研修など多くの授業カリキュラムを設定し、基礎学力の向上とグローバル教育に力を注いでいます。

本校は実績を着実に積み重ねつつ、さらなる学習環境の整備を進め、オンリーワンの教育活動に邁進してまいります。

国士館高等学校・中学校 校長

岩淵 公一

いわぶち・こういち



1955年岩手県生まれ

1978年国士館大学体育学部卒業

1979年国士館高等学校(全日制)・中学校の常勤講師として入職。1980年教諭、2016年副校長、2019年4月国士館高等学校・中学校校長に就任

1988年から国士館高等学校柔道部監督指導者として高校柔道部を幾度も全国大会に導いたほか、オリンピックをはじめ世界大会で活躍する名選手を多数輩出

2008年第29回オリンピック競技大会 文部科学大臣顕彰(スポーツ功労者顕彰)
2008年第29回オリンピック競技大会 優秀者表彰

2008年から全日本柔道連盟 強化委員会 特別委員

2010年から日本オリンピック委員会(JOC)強化スタッフ(マネジメントスタッフ)
2019年柔道八段昇格

役員等

[理事長]
大澤英雄

[理事]
佐藤圭一
飯田昭夫
横沢民男
福本正幸
岡林中今
石田唱司
島崎修次
瀬野 隆
間瀬誠吾
山田慎吾

[監事]
足立禮一
今福康夫

[評議員]
佐藤圭一
岩淵公一
飯田昭夫
表きよし
二川佳央
長谷川均
村岡幸彦
横沢民男
大谷 茂
作田英一
福本正幸
美納淳一
岡林中今
加藤純一
小泉與七
谷岡三男
脇本三千雄
小山泰文
坂本廣身
島崎修次
瀬野 隆
矢野博志
山田慎吾

[評議員]
佐藤圭一
岩淵公一
飯田昭夫
表きよし
二川佳央
長谷川均
村岡幸彦
横沢民男
大谷 茂
作田英一
福本正幸
美納淳一
岡林中今
加藤純一
小泉與七
谷岡三男
脇本三千雄
小山泰文
坂本廣身
島崎修次
瀬野 隆
矢野博志
山田慎吾

[館長]
柴田徳文

国士館大学

[学長]
佐藤圭一

[副学長]
飯田昭夫
入澤 充
角田直也
長谷川均

[大学院研究科長]

政治学研究科 …… 平石正美
経済学研究科 …… 許 海珠
経営学研究科 …… 佐藤圭一
スポーツ・システム研究科 …… 角田直也
救急システム研究科 …… 田中秀治
工学研究科 …… 大浦邦彦
法学研究科 …… 森田悦史
総合知的財産法学研究科 …… 三浦正広
人文科学研究科 …… 菱刈晃夫
グローバルアジア研究科 …… 小口和美

[学部長]

政経学部 …… 岩元浩一
体育学部 …… 村岡幸彦
理工学部 …… 本田康裕
法学部 …… 飯塚 真
文学部 …… 中村一夫
21世紀アジア学部 …… 表きよし
経営学部 …… 佐藤圭一

[附属施設・附置研究所長等]

国際交流センター …… 大高敏男
図書館・情報メディアセンター …… 藤森 馨
イラク古代文化研究所 …… 小口裕通
武道・徳育研究所 …… 佐藤圭一
防災・救急救助総合研究所 …… 島崎修次
生涯学習センター …… 村上純一
ウエルネス・リサーチセンター …… 牧 亮
デジタルアーカイブセンター …… 佐藤圭一

国士館高等学校・中学校

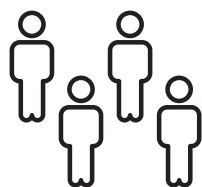
[校長]
岩淵公一

学部・学科・研究科数

7 学部 15 学科、10 研究科



1958年の大学設置以降、国士館大学は7学部10研究科を擁する総合大学へと発展しました。



学生数

12,757人

内訳：大学院256人、学部12,501人

学生の地方出身者の割合

※東京圏（東京、埼玉、千葉、神奈川）
以外の道府県出身者の割合

34%



国士館大学では、全国各地から学生たちが集い、それぞれの目標に向かって学んでいます。

[データで見る国士館]

KOKUSHIKAN

就職率（2019年度卒業生）

96.7%

本学主催セミナー参加企業数

500 団体



2019年度開催した本学主催セミナーには、「業界研究フェア」に約200団体、「就活！HOT SPACE（学内合同企業説明会3月、7月、10月）」に約300団体、延べ500団体が参加しました。

公務員就職者数（2019年度）

506人

警察官 151人 全国 1位

消防官 94人 全国 1位

自衛官 29人 全国 1位

『大学ランキング2021』（朝日出版）より

救急救命士合格者数（2019年）

147人 全国 1位

『大学ランキング2021』（朝日出版）より

教員就職者数（2019年度）

178人

内訳：高等学校
22人、中学校37
人、小学校101人、
その他18人



防災士合格者数

（2017～2019年度累計）

642人

本学では、防災リーダー育成のため2013年度より防災リーダー養成カリキュラムを開講しています。2017年度から本科目受講者は防災士の受験資格を得られるようになり、本学からこれまでに642人の防災士が誕生しています。

志願者数 (2020年度入試)



24,988人

公開講座

開講科目数 (2019年度)



107科目

地域住民にも教育資源の還元として学びの場を提供しています。

協定校・機関数

23ヶ国 1地域

53協定



留学生数

545人

23ヶ国545人の留学生が国士館で学んでいます。

国際ボランティア参加学生数
(2015~2018年度累計)

213人 全国3位

『大学ランキング2021』(朝日新聞出版)より

UNIVERSITY IN DATA

卒業生数



約17万5千人

卒業生は国士館創立以来、17万人を超え全国で活躍しています。

外部評価

9年連続 AA-

学校法人国士館は、2020年4月、株式会社日本格付研究所(JCR)より、9年連続で長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」の格付けを取得するとともに、格付けの見通しは「安定的」との結果を得ました。

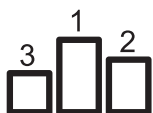


オリンピック・メダリスト数

54人・10人

本学はこれまでに54人のオリンピックを輩出しており、うち金メダル5人、銀メダル1人、銅メダル4人がメダルを獲得しています。

(国士館高校出身者2人を含む)



課外活動団体数

114クラブ・サークル

スポーツ協議会が指定する34クラブに加え、多くのクラブ・サークルが活動しています。



大学(設置校)と学園(法人)に関する情報について、最新のデータを集積・整理した『IR Data Book』を公開予定。

春期授業をオンラインで実施

新型コロナウイルス感染拡大を受け、本学は2020年度春期授業(5/11~8/12)をすべて遠隔(オンライン)で実施することを決定しました。加えて、家庭におけるオンライン環境の整備補助として、全学生・生徒に対し、一律8万円の緊急給付金を支給したほか、経済的支援のための臨時学費支援制度を新たに設けることを決定しました。

彬子女王殿下による特別講義

2018年4月より本学大学院人文科学研究科の客員教授であられる三笠宮家の彬子女王殿下が2019年10月、世田谷キャンパスの多目的ホールで「お米が伝える日本文化」と題して2018年に続き特別講義をなさいました。講義では集まった学生、教職員を前に、1年を24の季節に分けた暦「二十四節気」を取り上げ、各季節の名前とその由来を解説するなどお米と日本文化の繋がりについて語られました。



国士館大講堂創建100年

世田谷キャンパスの中央に位置する国登録有形文化財(建造物)の「国士館大講堂」が2019年11月9日に創建100年を迎え、記念事業として創建100年記念パンフレットを発行しました。国士館大講堂は国士館創立から2年後の1919年に落成し、建築様式は当時流行していた西洋館ではなく、本学の教育理念を象徴する日本の伝統的な意匠で建設されました。現在は本学のシンボルとして歴史展示と併せて公開し、創立時の教育理念や時代背景を今に伝えています。



国士館創立110周年記念事業募金開始

本法人は2027年11月の創立110周年に向けて、教育環境の一層の充実を図るため、「国士館創立110周年記念事業募金」を開始しました。記念事業では、期間を3期に分け、国士館楓の杜キャンパスの運用開始、2020年に取得した多摩市南野の用地の整備などに取り組みます。

災害車両を共同開発

本学防災・救急救助総合研究所と三菱ふそうトラック・バス株式会社は2019年9月に連携協定を締結し、災害用車両「ATHENA(アテナ)」を共同開発しました。同車両は第46回東京モーターショーで展示され多くの関心を集めました。



安全・安心体制を構築 多摩丘陵病院と協力協定

国士館スポーツプロモーションセンターと東京都町田市にある多摩丘陵病院は2019年9月にメディカルサポートに関する協定を締結しました。本協定は、競技中や実習などにおけるけがや事故などリスク対応を前提とした医療支援体制の構築を図るもので、本学内で発症した傷病者を同病院が可能な限り受け入れること、本学の救護活動に対する同病院の医療従事者の派遣など相互の協力により、安全かつ安心して活動できる教育環境整備を進めます。

安否確認システムを導入

本学では、大規模災害発生時に学生および教職員の安否確認を迅速かつ確実にを行うため、2020年5月からセコム株式会社が提供する「国士館大学安否確認システム」の導入を開始しました。本システムでは、一斉自動メール配信による安否確認の迅速化と集計データの効率的な蓄積が可能となり、大規模災害など危機発生時に本学の迅速での確実な対応につなげます。

格付評価は昨年に続き 「AA-」／「安定的」を取得

本法人は、2020年4月22日付けで株式会社日本格付研究所(JCR)より、年々厳しくなる環境の中で、昨年に引き続き長期発行体格付で「AA-(ダブルAマイナス)」の格付けを取得するとともに、格付けの見直しは「安定的」との結果を得ました。この「AA-」は、10等級ある格付けの上から2番目(AAレンジ)に位置し、「引き続き、底堅い基本金組入前当年度収支差額を確保できるとみている」と評価されました。

多摩市南野に用地取得

本法人は多摩キャンパスの拡充を図るため、2020年に多摩市南野に約21,000㎡の土地を取得しました。今後は本学が推進する防災研究の拠点とするほか、体育学部の講義・実習、課外活動などで使用するための整備を進めています。

東京2020大会に向けての取り組み

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、2021年7月に延期されました。本学園はこれまでに大会組織委員会や自治体等との連携協定を締結し、各種イベントを通じた大会機運の醸成を図るとともに、専門部署を設置し、本学学生・生徒へボランティアの参加を促進するなど大会の成功とレガシーの創出に向けたさまざまな取り組みを実施しています。

学年暦の変更とボランティアの単位化

他大学に先駆けて本学は、2020年度学年暦[※]においては、大会実施期間を、「特別課題研究期間」としたほか、ボランティア活動の単位認定を決めるなど、大会支援や観戦などを通じて学生がさまざまな場で体験し知見に触れる機会となるよう措置を講じました。

※大会の延期により、通常授業日程に変更しています

ボランティア活動の奨励と教育

学生・生徒に向け、説明会やポスターなどを通じて大会ボランティアおよび都市ボランティアへの応募を呼びかけ、多くの参加登録に繋がりました。登録者への学内講習会で学生らは、オリンピックやスポーツボランティアに関する基礎的な知識を学ぶとともに、今後は心肺蘇生や止血などファーストエイド講習などを受講する予定です。本学学生には、引き続き大会運営の担い手として活躍が期待されています。



大会開催
への貢献

連携協定を締結

2014年6月に東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と大学連携協定を締結しました(本学含む全国の552大学)。さらに2016年11月に本学と多摩市が東京2020大会に関する連携協定を締結し、2019年1月には、多摩市と本学含む多摩市内6大学(大妻女子・恵泉女学園・多摩・国士館・桜美林・東京医療学院)が連携協定を締結しました。両協定に基づき、これまでに講演会・体験会などの各種機運醸成イベントを実施しています。

各種連携

アイスランド選手団の事前キャンプ地に

2019年8月にはアイスランド国立オリンピック・スポーツ協会、多摩市および本学が覚書を締結しました。同国選手団は事前キャンプを多摩市で実施し、本学多摩キャンパスの施設を提供する予定です。また、2020年2月にはアイスランド障がい者スポーツ協会とも覚書を締結し、同パラリンピック選手団にも本学多摩キャンパスの施設を提供することが決まっています。



TOKYO 2020

聖火ランナーに内定

東京2020大会聖火ランナーの内定者が2019年12月より順次発表され、本学からは体育学部准教授で柔道部男子の鈴木桂治監督をはじめ複数の本学関係者が選出されました。鈴木監督は2004年アテネオリンピック柔道100kg超級の金メダリストで、柔道男子の日本代表コーチとして活躍しています。鈴木監督は地元茨城県内を走る予定です。



柔道部男子 鈴木桂治監督

機運醸成イベントの実施

本学はこれまでに関係団体との連携事業による各種イベントの実施のほか、本学独自の東京2020大会関連イベントを実施し、大会本番に向け機運醸成を図っています。



2019年11月、楓門祭(世田谷キャンパス学園祭)時に行われたメダリストによる講演会

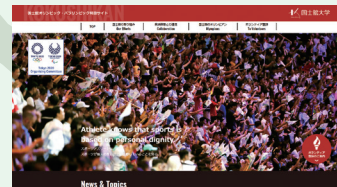
専門部署の設置

本学は2018年4月、東京2020大会に向けた統括組織として「東京オリンピック・パラリンピック支援課」を設置し、各種協定、連携事業、学生ボランティアの募集および研修会、イベント開催などに取り組んでいます。



特設サイトを開設

東京2020大会に向けた特設ページを本学ホームページ上に開設し、本学の取り組みのほか歴代のオリンピックやメダリスト、オリンピックに向けて努力を続ける本学アスリートなどを紹介しています。



学生・生徒数

*学生・生徒数は「学校法人基礎調査」(5/1現在)に基づいています。()は女子内数 (単位:人)

	大学院	修士課程 博士課程	学生数		
			修士課程	博士課程	
	大学院	223 (86)	256 (91)		
	学部		12,501 (3,144)		
	大学院・学部合計		12,757 (3,235)		
大学院	研究科	専攻	学生数		
			修士課程	博士課程	
	政治学研究科	政治学専攻	27 (14)	7 (3)	
	経済学研究科	経済学専攻	14 (3)	1 (0)	
	経営学研究科	経営学専攻	25 (16)	0 (0)	
	スポーツ・システム研究科	スポーツ・システム専攻	19 (2)	4 (1)	
	救急システム研究科	救急救命システム専攻	7 (2)	12 (1)	
		救急救命システム専攻(1年コース)	4 (1)	—	
	工学研究科	機械工学専攻	7 (0)	—	
		電気工学専攻	5 (0)	—	
		建設工学専攻	10 (1)	—	
		応用システム工学専攻	—	1 (0)	
	法学研究科	法学専攻	28 (5)	3 (0)	
	総合知的財産法学研究科	総合知的財産法学専攻	28 (13)	—	
	人文科学研究科	人文科学専攻	13 (8)	1 (0)	
		教育学専攻	13 (7)	3 (0)	
グローバルアジア研究科	グローバルアジア専攻	23 (14)	—		
	グローバルアジア研究専攻	—	1 (0)		
大学院計		223 (86)	33 (5)		
学部	学部	学科	学部別合計	学生数	
	政経学部	政治学科		2,392 (383)	9 (2)
		政治行政学科			765 (126)
		経済学科			1,618 (255)
	体育学部	体育学科		2,397 (577)	1,025 (213)
		武道学科			392 (87)
		スポーツ医科学科			622 (101)
		こどもスポーツ教育学科			358 (176)
	理工学部	理工学科		1,434 (241)	1,434 (241)
	法学部	法律学科		1,775 (402)	884 (217)
		現代ビジネス法学科			891 (185)
	文学部	教育学科	中等教育課程	1,703 (666)	319 (143)
			初等教育課程		173 (113)
					682 (178)
		教育学科	教育学専攻		4 (2)
			倫理学専攻		6 (1)
			初等教育専攻		4 (1)
			考古・日本史学専攻		12 (3)
		史学地理学科	東洋史学専攻		11 (2)
地理・環境専攻			18 (0)		
文学科		中国語・中国文学専攻	11 (2)		
	日本文学・文化専攻	14 (2)			
21世紀アジア学部	21世紀アジア学科		1,557 (554)	1,557 (554)	
経営学部	経営学科		1,243 (321)	1,243 (321)	
学部計				12,501 (3,144)	
高等学校 ・中学校			生徒数		
	高等学校	全日制	1,048 (301)	1,134 (320)	
		昼間定時制	86 (19)		
中学校			119 (31)		

教員数

(単位:人)

	専任	その他		専任	その他
大学			高等学校		
大学院	—	61	全日制	40	20
政経学部	47	93	定時制	8	14
体育学部	67	76	中学校		
理工学部	47	120		10	3
法学部	39	72	計	58	37
文学部	57	96	合計	368	691
21世紀アジア学部	22	61			
経営学部	22	72			
その他	9	3			
計	310	654			

※兼務を除く

職員数

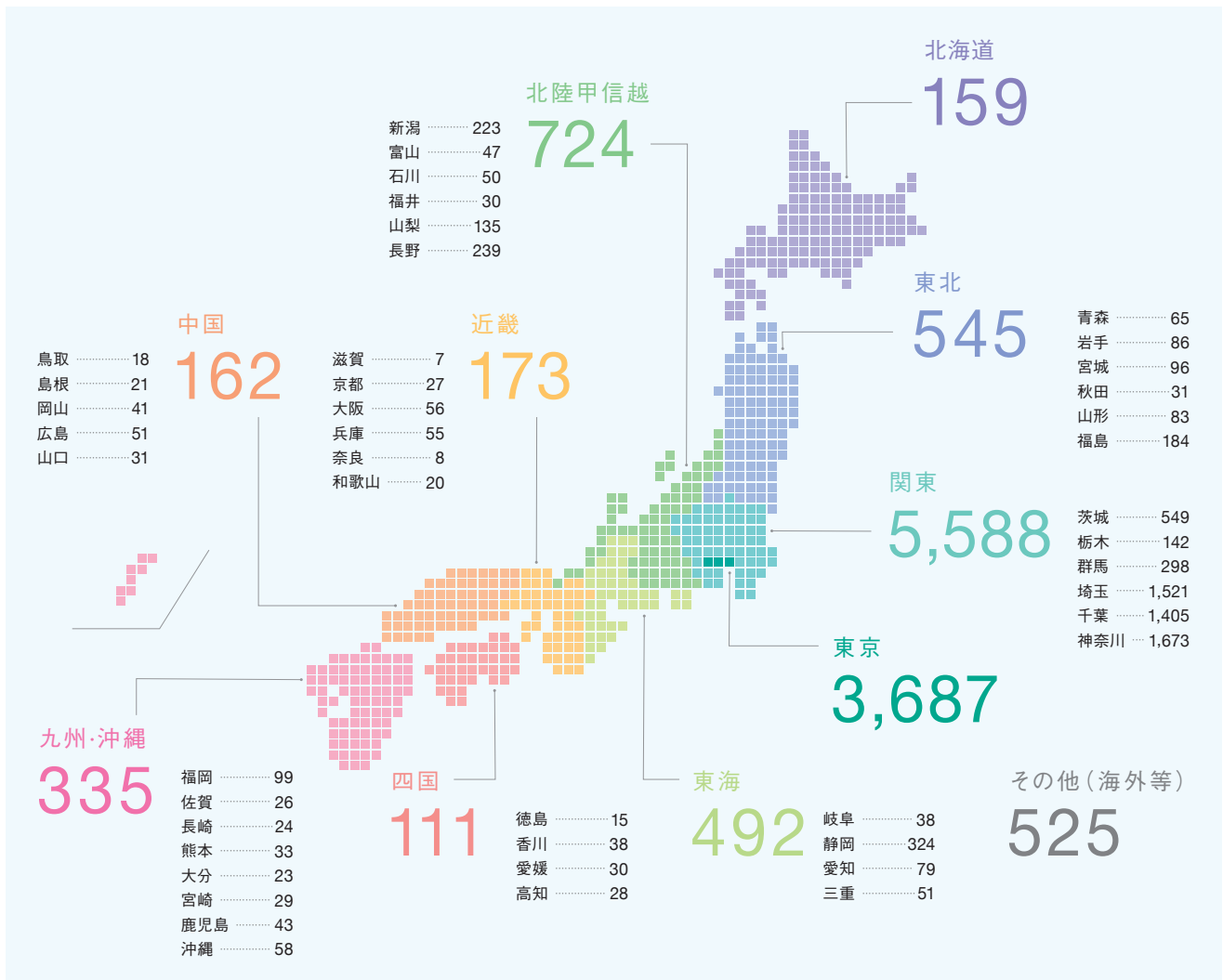
(単位:人)

	専任	その他
法人	67	34
大学	152	74
高等学校	6	9
中学校	1	2
合計	226	119

※派遣を除く

出身高等学校 所在都道府県別 学部生数

(単位:人)



キャンパス別学生数

(単位:人)

キャンパス	学生数
世田谷	8,733 (2,083)
町田	1,939 (744)
多摩	2,085 (408)
総数	12,757 (3,235)

()は女子内数

卒業・修了生数累計

(単位:人)

学部等	設置年	2019年度 卒業・修了生数	累計
大学院	修士課程	1965(昭和40)年~	90
	博士課程	1965(昭和40)年~	3
	計		93
学部	政経学部※	1961(昭和36)年~	539
	政経学部二部	1965(昭和40)年~2007(平成19)年	—
	体育学部	1958(昭和33)年~	569
	工学部	1963(昭和38)年~2013(平成25)年	—
	理工学部	2007(平成19)年~	301
	法学部	1966(昭和41)年~	437
	文学部	1966(昭和41)年~	404
	21世紀アジア学部	2002(平成14)年~	402
	経営学部	2011(平成23)年~	243
	計		2,895
高等学校	全日制	1948(昭和23)年~	314
	昼間定時制	1948(昭和23)年~(旧制・商業科含む)	71
	通信制	2000(平成12)年~2019(令和元)年	—
	工業科		—
	計		385
中学校	旧制	1925(大正14)年~1949(昭和24)年	—
	新制	1947(昭和22)年~	37
	計		37
福祉専門学校	1995(平成7)年~2007(平成19)年	—	333
その他(短期大学等)		—	8,863
合計		3,410	175,634

※政経学部一部含む

出身国(地域)別留学生数

(単位:人)

国名	修士	博士	政経学部	体育学部	理工学部	法学部	文学部	21世紀 アジア学部	経営学部	合計
中国	92	4	61	1	37	12	14	198	57	476
韓国	1		2		6			16	7	32
台湾	4				4			1	4	13
インドネシア	4	2								6
ベトナム	2		1		1				1	5
モンゴル	3									3
マレーシア				1	1					2
タイ		1						1		2
ケニア								2		2
キルギス								1		1
ハンガリー				1						1
ブルガリア							1			1
マリ共和国								1		1
合計	106	7	64	3	49	12	15	220	69	545

*正規課程在籍留学生数

海外協定校・機関 23カ国1地域/53大学・機関

地域	所在地	大学名
アメリカ	ニューヨーク	セント・ジョンズ大学◆
	カリフォルニア デイビス	カリフォルニア大学デイビス校◆
	カリフォルニア サンフランシスコ	サンフランシスコ州立大学
カナダ	クランブルック	カレッジ・オブ・ザ・ロックーズ◆
	バンクーバー	サイモン・フレーザー大学
オーストラリア	ブリスベン	グリフィス大学◆
	クレイトン	モナッシュ大学
韓国	ソウル	漢陽大学校
	釜山	東義大学校◆
	慶尚北道	国立安東大学校
	ソウル	高麗大学校
	光州	国立全南大学校
中国	北京市	北京師範大学
	北京市	北京工業大学◆
	山西省	山西大学
	江蘇省	蘇州大学
	黒龍江省	黒龍江大学
	上海市	上海対外経貿大学
	湖北省	武漢大学
	吉林省	吉林大学
	遼寧省	大連外国語大学
	遼寧省	大連東軟信息学院
	広東省	深圳職業技術学院
	山東省	青島大学
	台湾	台北市
高雄市		国立中山大学

地域	所在地	大学名
モンゴル	ウランバートル	モンゴル国立大学
フィリピン	マニラ	デ・ラ・サール大学
ベトナム	ホーチミン	ベトナム国家社会人文科学大学(USSH)
インドネシア	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学
	ソロ	セbrasマル大学
タイ	バンコク	チュラロンコン大学
	バンコク	タイ国立救急医療センター
	バンコク	ナワミンタラティラード大学
ミャンマー	ヤンゴン	ヤンゴン大学
ハンガリー	ブダペスト	センメルヴァイス大学
ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン大学
	コブレンツ	コブレンツ・ランダオ大学
ロシア	ウラジオストク	極東連邦大学
ウズベキスタン	サマルカンド	国立サマルカンド外国語大学
	タシケント	世界経済外交大学
キルギス	ビシュケク	キルギス国立民族大学
カザフスタン	アルマトイ	アル・ファラビカザフ民族大学
エチオピア	アディス・アベバ	アディス・アベバ大学
イラク	バグダッド	イラク国考古遺産庁
ヨルダン	イルビド	ヤルムーク大学
	アンマン	ヨルダン考古庁
ブルガリア	ソフィア	国立スポーツアカデミー
	ヴェルコ・タルノボ	ヴェルコ・タルノボ大学
トルコ	バン	ユズンジュ・ユル大学
	アンカラ	ハジエツテッペ大学
スウェーデン	ルレオ	ルレオ工科大学

◆海外研修校



主な就職先 (2019年度)

政経学部

アイリスオーヤマ(株)
 (株)飯田産業
 イオンリテール(株)
 (株)エービーシー商会
 (株)京葉銀行
 (株)資生堂
 (株)JTB
 (株)JALグランドサービス
 積水ハウス(株)
 第一生命保険(株)
 日本サムスン(株)
 日本郵政(株)
 (株)日本旅行
 水戸証券(株)
 横浜冷凍(株)
 (株)ヨドバシカメラ
 リゾートトラスト(株)
 都道府県市区町村公務員
 警視庁ほか警察
 東京消防庁ほか消防
 公立私立学校教員

体育学部

アシックスジャパン(株)
 イオンリテール(株)
 コナミホールディングス(株)
 (株)ジャクバ
 積水ハウス(株)
 セコム(株)
 (株)セルリアンタワー東急ホテル
 総合警備保障(株)
 高梨乳業(株)
 東芝テック(株)
 日本赤十字社
 日本中央競馬会
 日本通運(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 (株)日立ビルシステム
 (株)ホテルグランドパレス
 三井住友海上火災保険(株)
 三菱UFJ不動産販売(株)
 警視庁ほか警察
 東京消防庁ほか消防
 公立私立学校教員
 都道府県市区町村公務員

理工学部

(株)アルプスツール
 SCSK(株)
 (株)オリエンタルランド
 かながわ信用金庫
 (株)きんでん
 シャープ(株)
 ダイダム(株)
 大和ハウス工業(株)
 (株)中電工
 東急電鉄(株)
 (株)ニトリ
 日本トムソン(株)
 (株)長谷工コーポレーション
 (株)日立ビルシステム
 (株)フジタ
 (株)富士通エフサス
 富士通特機システム(株)
 マイクロンメモリジャパン株式会社
 リゾートトラスト(株)
 都道府県市区町村公務員
 警視庁ほか警察
 公立私立学校教員

法学部

アサヒ飲料(株)
 (株)飯田産業
 小田急電鉄(株)
 鹿島建物総合管理(株)
 (株)静岡銀行
 (株)JALグランドサービス
 セコム(株)
 積水ハウス(株)
 世田谷信用金庫
 大和ハウス工業(株)
 東急電鉄(株)
 日本貨物鉄道(株)
 日本郵政(株)
 羽田空港サービス(株)
 (株)ペッパーフードサービス
 ポルポ・カー・ジャパン(株)
 (株)ヨドバシカメラ
 警視庁ほか警察
 東京消防庁ほか消防
 都道府県市区町村公務員
 私立学校教員

文学部

(株)AOKI
 アジア航測(株)
 アパホテル(株)
 (株)鹿児島銀行
 (株)京葉銀行
 コストコホールセールジャパン(株)
 積水ハウス(株)
 セントラルスポーツ(株)
 総合警備保障(株)
 (株)総合資格
 ダイキンエアテクノ(株)
 東急リパブル(株)
 (株)ニトリ
 日本郵政(株)
 北海道旅客鉄道(株)
 (株)ヨドバシカメラ
 リゾートトラスト(株)
 (株)ルミネ
 都道府県市区町村公務員
 公立私立学校教員

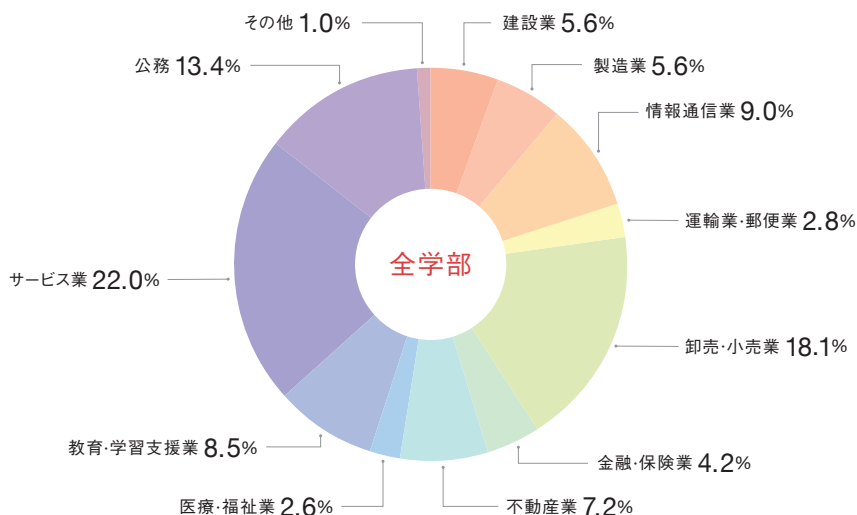
21世紀アジア学部

Apple Japan合同会社
 ANA福岡空港(株)
 (株)ウェザーニューズ
 コーチ・ジャパン合同会社
 大和ハウス工業(株)
 (株)千葉ロッテマリーンズ
 (株)西鉄ホテルズ
 日本製鉄(株)
 日本郵政(株)
 (株)パッファロー
 羽田空港サービス(株)
 (株)日立ビルシステム
 富士通(株)
 本田技研工業(株)
 (株)マイナビ
 (株)ユニクロ
 リゾートトラスト(株)
 都道府県市区町村公務員
 警視庁ほか警察
 公立私立学校教員

経営学部

イオンフィナンシャルサービス(株)
 岡三証券(株)
 兼松コミュニケーションズ(株)
 (株)サイサン
 (株)じぶん銀行
 (株)昭栄美術
 城南信用金庫
 ジョルジオアルマーニジャパン(株)
 大成建設(株)
 大日本印刷(株)
 (株)大和地所
 東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)
 東急リパブル(株)
 日本電気(株)
 富士ソフト(株)
 HOYA(株)
 (株)ホテルオークラ東京ベイ
 (株)マキタ
 (株)三井住友銀行
 都道府県市区町村公務員

全学部 業種別就職割合 (2019年度)



研究データ

博士学位授与者数

(単位:人)

区分	2018年度	2019年度	累計
課程博士授与者数	4	4	58
論文博士授与者数	2	4	50
合計	6	8	108

科学研究費助成事業(科研費)交付額

種目	2019年度		2020年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
新学術領域研究	1	2,860	1	3,120
基盤研究(B)	4	19,240	3	11,180
基盤研究(C)	30	40,300	30	33,930
若手研究	5	5,850	12	13,650
研究活動スタート支援	—	—	2	2,470
奨励研究	—	—	1	420
計	40	68,250	49	64,770

外部資金受入状況

区分	2018年度		2019年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
受託研究・共同研究	20	13,340	19	81,088
奨学寄附金	9	8,950	8	3,432
助成金等	8	27,479	8	20,630
計	37	49,769	35	105,150

特許出願件数

(単位:件)

	2018年度	2019年度
単独出願	0	1
共同出願	5	5
計	5	6

特許保有件数

(単位:件)

	2018年度	2019年度
保有件数	2	2

図書館データ

図書所蔵数

(単位:冊)

	和書	洋書	合計
世田谷	479,949	170,683	650,632
町田	140,038	28,236	168,274
多摩	39,530	9,923	49,453

雑誌所蔵数

(単位:冊)

	和書	洋書	合計
世田谷	6,057	1,608	7,665
町田	678	303	981
多摩	350	139	489

科研費

科研費は、人文学・社会科学から自然科学まですべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる学術研究を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、独創的・先駆的な研究に対し助成を行う文部科学省および独立行政法人日本学術振興会の事業

受託研究

企業等から委託を受けて行う研究

共同研究

企業等と共同で行う研究

奨学寄附金

企業や篤志家などから寄附金を受け入れて、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度

助成金等

国の競争的資金や財団等の公募で採択された研究費

図書館座席数

(単位:席)

世田谷	779
町田	423
多摩	211
合計	1,413



財務状況

2019年度 資金収支計算書

収入の部

科目	決算額(百万円)
学生生徒等納付金・手数料収入	16,431
寄付金収入	92
補助金収入	1,383
その他の収入	13,356
資金収入調整勘定	△ 3,848
前年度繰越支払資金	13,721
収入の部合計	41,136

支出の部

科目	決算額(百万円)
人件費支出	8,891
教育研究経費支出	4,373
管理経費支出	1,150
施設・設備関係支出	3,304
その他の支出	6,116
資金支出調整勘定	△ 902
翌年度繰越支払資金	18,204
支出の部合計	41,136

2019年度 活動区分資金収支計算書

科目	決算額(百万円)
教育活動資金収入計	18,764
教育活動資金支出計	14,413
差引	4,351
調整勘定等	519
教育活動資金収支差額	4,871
施設整備等活動資金収入計	4
施設整備等活動資金支出計	3,504
差引	△ 3,500
調整勘定等	148
施設整備等活動資金収支差額	△ 3,352
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,519
その他の活動資金収入計	8,111
その他の活動資金支出計	5,147
差引	2,965
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	2,965
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	4,483
前年度繰越支払資金	13,721
翌年度繰越支払資金	18,204

2019年度 事業活動収支計算書(事業活動収入構成比率)

科目	決算額(百万円)	比率
教育活動収入計	18,773	97.9%
教育活動支出計	16,536	86.3%
教育活動収支差額	2,237	—
教育活動外収入計	217	1.1%
教育活動外支出計	36	0.2%
教育活動外収支差額	181	—
経常収支差額	2,419	—
特別収入計	177	0.9%
特別支出計	9	0.0%
特別収支差額	167	—
基本金組入前当年度収支差額	2,586	13.5%
基本金組入額合計	△ 1,647	△ 8.6%
当年度収支差額	939	4.9%
前年度繰越収支差額	△ 21,885	—
基本金取崩額	0	—
翌年度繰越収支差額	△ 20,946	—
(参考)		
事業活動収入計	19,167	100.0%
事業活動支出計	16,581	86.5%

貸借対照表(2020年3月31日)

資産の部

科目	全額(百万円)
固定資産	57,711
有形固定資産	41,407
特定資産	2,470
その他の固定資産	13,833
流動資産	18,863
資産の部合計	76,574

負債・純資産の部

科目	全額(百万円)
固定負債	8,557
流動負債	5,332
純資産	62,685
基本金	83,631
繰越収支差額	△ 20,946
負債及び純資産の部合計	76,574

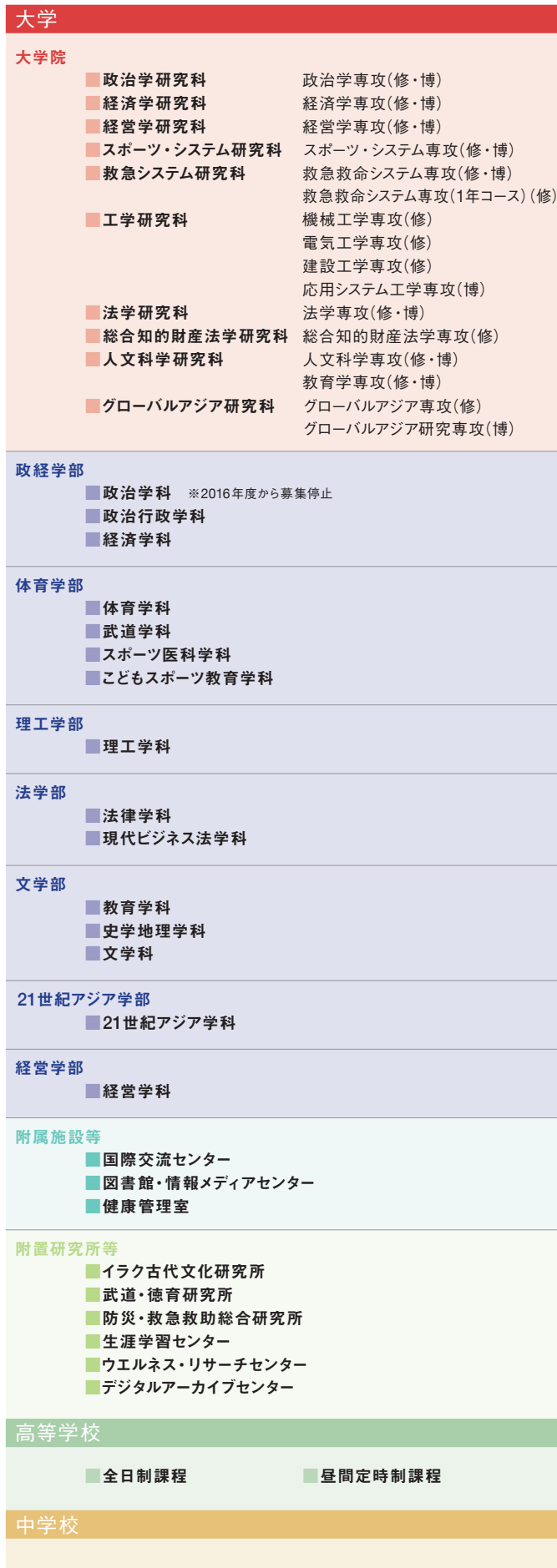
* 表中の決算額は、百万円未満を四捨五入しているため、合計金額が計算上一致しない場合があります。

* 「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動に区分した附属表です。学校の本業である「教育活動」に係る学納金、人件費、教育研究経費等の収支、「施設整備等活動」として施設設備投資とその財源の収支、「その他の活動」として財務活動、収益事業に係る活動、預り金の受払い等を計上しています。

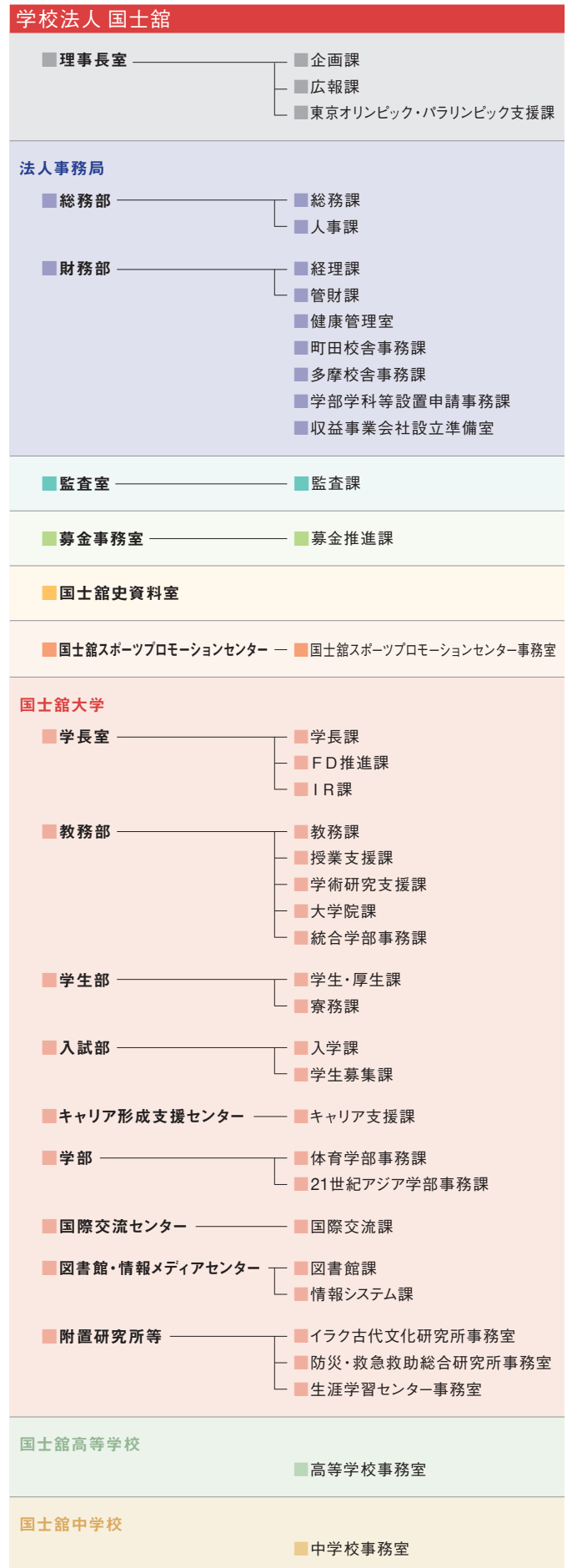
* 「事業活動収支計算書」は、学校法人における事業活動を経常的なものと臨時的なものに区分し、更に経常的なものは「教育(研究を含む)活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、また臨時的なものは「特別収支」として把握することとしています。基本金組入前当年度収支差額は、学校の採算性を示す企業会計の当期利益率に近い比率です。なお詳細は、本学のホームページで公開しています。

組織

教育研究組織図



事務組織図



キャンパス・施設概要



世田谷キャンパス

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1
TEL 03-5481-3111(代表)

土地面積: 56,771㎡ / 建物面積: 109,421㎡

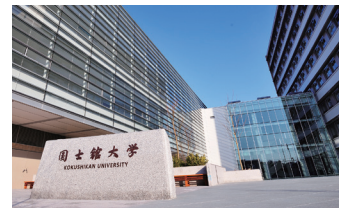
大学院: 政治学研究科 / 経済学研究科 / 経営学研究科 / 工学研究科 /
法学研究科 / 総合的財産 / 法学研究科 / 人文科学研究科
学 部: 政経学部 / 理工学部 / 法学部 / 文学部 / 経営学部

世田谷キャンパスへのアクセス

- ▶ 小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
- ▶ 東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分

国士館高等学校・中学校

〒154-8553 東京都世田谷区若林4-32-1
TEL 03-5481-3131(高等学校代表)
TEL 03-5481-3114(中学校代表)



町田キャンパス

〒195-8550 東京都町田市広袴1-1-1
TEL 042-735-3111(代表)

土地面積: 90,019㎡ / 建物面積: 36,124㎡

大学院: グローバルアジア研究科
学 部: 体育学部(子どもスポーツ教育学科) / 21世紀アジア学部

町田キャンパスへのアクセス

- ▶ 小田急線鶴川駅前からスクールバス(無料)
- ▶ 小田急線鶴川駅バスターミナル2番乗り場から、「六丁目」「センター」「北廻り」のいずれかを経由する「鶴川団地」行きバスで8~10分、「国士館大学前」下車

鶴川駅スクールバス乗り場
(鶴川駅から町田キャンパスまで)

所要時間: 10分
鶴川駅の北口改札口を出て、まっすぐ 鶴川街道
まで20m進む。ベンチが目印。



多摩キャンパス

〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1
TEL 042-339-7200(代表)

土地面積: 183,588㎡ / 建物面積: 38,887㎡

大学院: スポーツ・システム研究科 / 救急システム研究科
学 部: 体育学部(体育学科・武道学科・スポーツ医科学科)

多摩キャンパスへのアクセス

- ▶ 小田急多摩線・京王相模原線永山駅前からスクールバス(無料)
- ▶ 小田急多摩線・京王相模原線永山駅バスターミナル3番乗り場から、「鶴川駅」「永山五丁目」行きバスで、「永山高校」下車、徒歩5分

永山駅スクールバス乗り場
(永山駅から多摩キャンパスまで)

所要時間: 10分
永山駅改札口を出て、階段を降りる。左手にある
交番の前方に見える金属製のオブジェが目印。



2020年8月竣工予定

国士館楓の杜キャンパス

〒195-0063 東京都町田市野津田3101
TEL 042-734-0050(代表)

土地面積: 42,335㎡ / 建物面積: 1,579㎡ (2020年7月1日現在)

国士館楓の杜キャンパスへのアクセス

- ▶ 小田急線鶴川駅バスターミナル0番乗り場から、「やくし台センター」行きバスで、終点「やくし台センター」下車、徒歩5分
- ▶ 小田急線鶴川駅バスターミナル0番乗り場から、「町田駅」行きバスで、「野津田神社入口」下車、徒歩12分
- ▶ 小田急線町田駅北口21番乗り場から、「鶴川駅」行きバスで、「野津田神社入口」下車、徒歩12分



※スクールバスはイベント開催時を除く日曜・祝日は運行しません。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.kokushikan.ac.jp/access/>

キャンパス・施設概要

世田谷キャンパス 最先端設備が揃う渋谷・新宿から30分の立地ながら、静かな学びの環境

大学院: 政治学研究科/経済学研究科/経営学研究科/工学研究科/法学研究科/総合知的財産/法学研究科/人文科学研究科
学 部: 政経学部/理工学部/法学部/文学部/経営学部

- a 正門受付
- b 中央図書館
- c 1号館
- d 国士館大講堂
- e 5号館
- f 6号館
- g 7号館
- h 8号館
- i 10号館
- j 国士館大学 地域交流文化センター
- k 34号館(梅ヶ丘校舎)
- l 高等学校・中学校校舎
- m 24号館
- n グラウンド
- o 体育・武道館
- p メイプルセンチュリーホール
- q 38号棟
- r クラブ部室
- s ハイテク・リサーチ・センター棟
- t 学園祭実行委員会室
- u 柴田会館
- v 国士館大学ゲストハウス



町田キャンパス 東京・町田の丘陵に広がる、緑が爽やかな環境

大学院: グローバルアジア研究科
学 部: 体育学部(こどもスポーツ教育学科)/21世紀アジア学部

- a 正門受付
- b 中央広場
- c 11号館
- d 12号館
- e 13号館
- f 14号館
- g 15号館
- h 30号館
- i 野球場
- j クラブ部室A棟
- k 第2柔道場
- l 第3体育館
- m 第4体育館
- n 鶴川メイプルホール
- o 学園祭実行委員会室
- p 書籍・文具店
- q テニスコート/ゴルフ教場/弓道場
- r 多目的グラウンド
- s 多目的グラウンド管理棟
- t 屋内野球練習場



多摩キャンパス 最新の各種スポーツ施設が整う広大な校地

大学院: スポーツ・システム研究科/ 救急システム研究科
 学 部: 体育学部(体育学科・武道学科・スポーツ医科学科)

- a 教室・管理棟
- b 体育館棟
- c 武道棟
- d 教室・研究棟
- e 教室・実習棟
- f 食堂棟
- g メイプルセンチュリーセンター多摩
- h 学園祭実行委員会室
- i 相撲教場
- j ラグビー・アメリカンフットボール場
- k 多目的グラウンド
- l テニスコート
- m 陸上競技場
- n 管理A棟
- o 管理B棟
- p 管理D棟
- q 野球場
- r 多摩球心寮



国士舘楓の杜キャンパス JFA(日本サッカー協会)公認グラウンド**を備える緑豊かな校地

※申請中(2020年7月1日現在)

(2020年8月竣工予定)

- a グラウンド
- b サブグラウンド
- c 既存施設
- d 既存施設
- e 既存施設



2020年6月27日撮影

教育に生涯を捧げた気魄の人

国士館創立者 柴田徳次郎



しばた・とくじろう 1890.12.20 - 1973.1.26

福岡県那珂郡別所村(現・那珂川市別所)に生まれる。15歳で上京し、苦学の末に早稲田大学専門部を卒業。在学時より同郷の頭山満、野田卯太郎、中野正剛らの知遇を得た。1917年、26歳で同志とともに国士館を創立。国士館を法人化するとともに、諸学校を設置して多くの青少年に門戸を開き、文武両道の精神を基本とする人材の育成に努める。戦災で校舎を失う苦難を乗り越え、国士館の再建復興をはかり、中学校・高等学校・大学・大学院を一貫する総合学園の基礎を築いた。教育にすべてを捧げた柴田の志は、今なお脈々と受け継がれている。1973年、享年84で永眠。正四位勲二等瑞宝章。経済学博士

若き創立者

国士館を創立した時、柴田は弱冠26歳、無名の青年でした。貧しい農家に生まれた柴田は、幼少より困窮する人々を助けたいとの志を抱き、勉学のため15歳で単身上京し、牛乳配達など苦学の末に早稲田大学を卒業します。当時の日本は、急速に近代化を遂げた一方で、伝統文化の軽視や貧富の拡大などにより社会は疲弊していました。柴田が抱いた志は、社会の歪みを改めたいという信念となり、同世代の同志たちが集います。そして1917年、次の時代を担う青年層への教育に着目して、新たな教育機関・国士館を創立するのです。



1917年 国士館開校式

時代と人をつかむ

国士館の教育は「真の智識人」の育成にあり、新たな時代に相応しいその趣旨に多くの支援者を得ました。それは、従来の形式的な近代的学術の教授のみならず、軽視されつつある伝統文化に基づいた人格形成を主眼とした教育にありました。地位も財産もない若き柴田らは、将来の日本社会を担う国士館の理想を説き、頭山満、野田卯太郎、渋沢栄一、徳富蘇峰をはじめ、明治期に活躍した多くの有識者の支援を得ます。新時代を担う教育に賛同する支援者により、国士館は教育の環境を整えていくのです。



1926年 創立期の支援者(前列左より頭山、野田、渋沢、徳富、後列最右に柴田)

生涯、教育者として

柴田は、国士館の創立以来、約60年にわたり教育の場に立ち続けました。大学の創設以降、学生・生徒も急増し総合学園へと発展を遂げる国士館にあって、柴田は、経営への尽力とともに、毎週の館長訓話や一人ひとりへの卒業面接を自ら行うなど、個々の人間力を高める独自の教育を展開します。晩年、脳溢血を患いながらも訓話に登壇した柴田は、第一声で「学生諸君、会いたかったよ」と発し、その場の学生らは皆、涙したといいます。国士館の教育に生涯を捧げた柴田は、厳しくも慈愛に満ちた教育者でした。



1965年 館長訓話

		1966 昭和41年	鶴川校舎(鶴川キャンパス)開設 法学部(法律学科)設置 文学部(教育学科・史学地理学科・文学科)設置
		1974 昭和49年	教養部設置(平成8年3月廃止)
		1992 平成4年	多摩校舎(現多摩キャンパス)開設 体育学部移転
		1994 平成6年	大学院に工学研究科(修士)設置 国士館高等学校・中学校男女共学制導入(新校舎完成)
		1995 平成7年	大学院に法学研究科(修士)設置 国士館大学福祉専門学校(介護福祉学科)設置 (平成19年3月廃止)
		1997 平成9年	大学院に経営学研究科(修士)設置
		1998 平成10年	中央図書館完成
		1999 平成11年	大学院経営学研究科・工学研究科・法学研究科に 博士課程設置
		2000 平成12年	体育学部に武道学科・スポーツ医科学科設置 高等学校に通信制課程設置(令和元年12月廃止認可)
		2001 平成13年	法学部に現代ビジネス法学科、大学院にスポーツ・システム研究科 (修士)・人文科学研究科(修士)設置 工学部電気工学科を電気電子工学科に名称変更
		2002 平成14年	21世紀アジア学部(21世紀アジア学科)設置 工学部機械工学科を機械情報工学科、土木工学科を 都市システム工学科、建築学科を建築デザイン工学科に名称変更
		2003 平成15年	大学院スポーツ・システム研究科・人文科学研究科に 博士課程設置 政経学部に昼夜開講制に改組
		2006 平成18年	大学院に総合知的財産法研究科(修士)、 グローバルアジア研究科(修士・博士)設置 国士館大学地域交流文化センター完成
		2007 平成19年	工学部を改組し理工学部(理工学科)設置
		2008 平成20年	世田谷キャンパスに梅ヶ丘校舎(34号館)完成 体育学部にこどもスポーツ教育学科設置
		2009 平成21年	鶴川キャンパスを町田キャンパスに名称変更
		2010 平成22年	大学院に救急システム研究科(修士)設置
		2011 平成23年	経営学部(経営学科)設置
		2013 平成25年	世田谷キャンパスにメイプルセンチュリーホール完成 大学院救急システム研究科に博士課程設置
		2016 平成28年	政経学部政治学科を政治行政学科に名称変更 多摩キャンパスにメイプルセンチュリーセンター多摩完成
		2017 平成29年	国士館創立100周年 国士館大講堂・国登録有形文化財(建造物)登録
		2020 令和2年	国士館楓の杜キャンパス開設
1917 大正6年	東京・麻布に私塾「国士館」を創立		
1919 大正8年	世田谷へ移転、世田谷校舎(現世田谷キャンパス)開設 財団法人国士館設置(現在地) 国士館高等部設置(昭和5年3月閉校)		
1923 大正12年	国士館中等部設置(大正14年3月閉校)		
1925 大正14年	国士館中学校設置(昭和24年3月廃止)		
1926 大正15年	国士館商業学校設置(昭和24年3月廃止)		
1929 昭和4年	国士館専門学校(国漢剣道科・柔道科)設置 (昭和30年3月廃止)		
1930 昭和5年	国士館高等拓植学校設置(昭和9年11月廃止)		
1942 昭和17年	国士館高等拓殖学校(満蒙支科・南洋科)設置 (昭和20年12月廃止)		
1945 昭和20年	戦禍により校舎焼失		
1946 昭和21年	法人・学校名称を至徳学園に変更 (至徳専門学校、至徳商業学校、至徳中学校となる)		
1947 昭和22年	至徳中学校(新制3年制)設置		
1948 昭和23年	至徳商業高等学校(新制3年制)設置(昭和24年3月廃止) 至徳高等学校(全日制普通科＝新制3年制、 定時制商業科＝新制4年制)設置		
1951 昭和26年	財団法人至徳学園から学校法人至徳学園に変更		
1953 昭和28年	至徳学園を国士館の名称に復す(国士館高等学校、 国士館中学校となる。専門学校は至徳のまま、昭和30年3月廃止) 国士館短期大学(2年制)設置 国文科・経済科二部設置(経済科二部昭和41年3月廃止、 国文科平成15年3月廃止)		
1956 昭和31年	短期大学に体育科(3年制)設置(昭和35年3月廃止)		
1958 昭和33年	国士館大学設置 体育学部(体育学科)設置		
1961 昭和36年	政経学部(政治学科・経済学科)設置		
1962 昭和37年	政経学部に経営学科設置		
1963 昭和38年	工学部(機械工学科・電気工学科)設置 (平成19年4月理工学部に改組、平成25年3月廃止)		
1964 昭和39年	工学部に土木工学科・建築学科設置 太宰府校地取得(平成25年4月閉鎖)		
1965 昭和40年	国士館大学大学院設置 政治学研究科・経済学研究科(各修士・博士)設置 政経学部二部(政治学科・経済学科)設置(平成19年3月廃止)		

1985 (昭和60年)

1995 (平成7年)

2005 (平成17年)

2015 (平成27年)

学校法人 国士館

1994.4 工学研究科(修) 1999.4 (博)

1995.4 法学研究科(修) 1999.4 (博)

1997.4 経営学研究科(修) 1999.4 (博)

2001.4 スポーツ・システム研究科(修) 2003.4 (博)

2001.4 人文科学研究科(修) 2003.4 (博)

2006.4 総合知的財産法學研究科(修)

2006.4 グローバルアジア研究科(修・博)

2010.4 救急システム研究科(修) 2013.4 (博)

2000.4 武道学科

2000.4 スポーツ医科学科

2008.4 こどもスポーツ教育学科

→ 2003.4 政経学部

》》 2003.4 フレックスA・B導入 》》 2008.4 政治学科 → 2016.4 政治行政学科

》》 2003.4 フレックスA・B導入 》》 2008.4 経済学科

2017.3 廃止

2007.3 廃止

》》 2007.4 理工学部 (2013.3 工学部廃止)

→ 2002.4 機械情報工学科 》》

→ 2001.4 電気電子工学科 》》

→ 2002.4 都市システム工学科 》》

→ 2002.4 建築デザイン工学科 》》

2007.4 理工学部

2001.4 現代ビジネス法学科

》》 2017.4 教育学科

→ 2004.4 考古・日本史学専攻 》》

→ 2004.4 地理・環境専攻 》》

→ 2004.4 中国語・中国文学専攻 》》

→ 2004.4 日本文学・文化専攻 》》

2017.4 史学地理学科

2017.4 文学科

2002.4 21世紀アジア学部

2002.4 21世紀アジア学科

2011.4 経営学部

2011.4 経営学科

1996.3 廃止

2003.3 廃止

1995.3 廃止

1995.3 廃止

1995.3 廃止

1995.4 情報理数科 2004.3 廃止

1996.3 廃止

1994.4 普通科(定時制)

2000.4 普通科(通信制)

2018.4 休止

2019.12 廃止

国士館大学福祉専門学校

1995.4 介護福祉学科

2007.3 廃止

人と社会を支える力



学校法人 国士館

国士館要覧2020

発行日 …………… 2020年7月20日

発行 …………… 学校法人国士館

編集 …………… 理事長室広報課

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

Tel 03-5481-3115

<http://www.kokushikan.ac.jp/>

本要覧は2020年5月1日現在の情報に基づいています。

